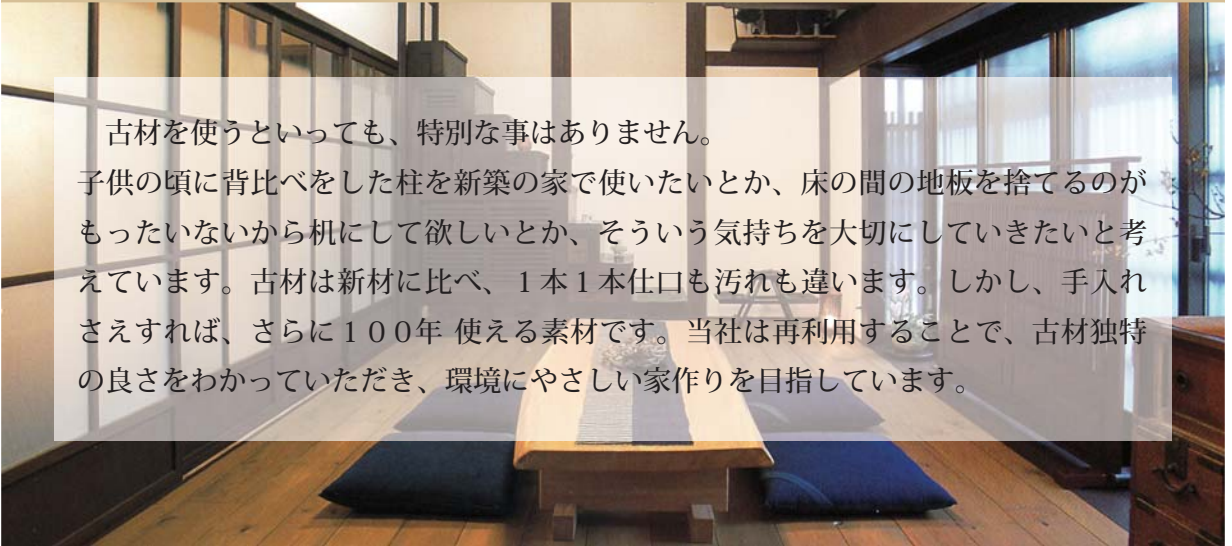


㊦ 古材を使った住まいも提供します

古材を使うといっても、特別な事はありません。

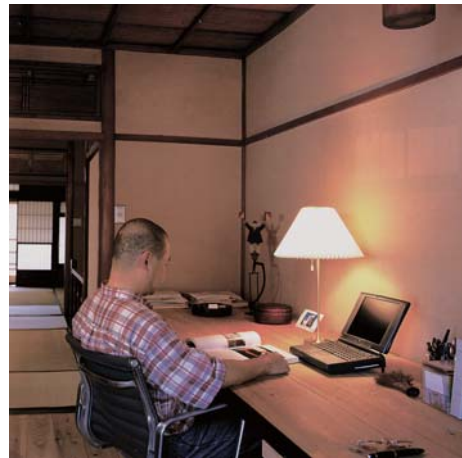
子供の頃に背比べをした柱を新築の家で使いたいとか、床の間の地板を捨てるのがもったいないから机にして欲しいとか、そういう気持ちを大切にしていきたいと考えています。古材は新材に比べ、1本1本仕口も汚れも違います。しかし、手入れさえすれば、さらに100年使える素材です。当社は再利用することで、古材独特の良さをわかっていただき、環境にやさしい家作りを目指しています。



古材を組み合わせ、『建ったときから古い家』を新築。写真に見える梁 ← 柱・建具の半分近くは新材だが、古材と違和感がないように色を合わせる。



地松梁の古材を加工し、作り付けのテーブルに。 →



150年は経っている今津の茅葺民家を京都に移築。



危ないからといって撤去した箱階段を飾り棚として再利用。